

CASBEE[®] - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2016(v2.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	エクイニクス・ジャパン EQUINIX O	階数	地上3階、地下1階
建設地	大阪府箕面市市彩都粟生北	構造	S造
用途地域	市街化区域、2種住居地域	平均居住人員	200 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年11月 予定	評価の実施日	2019年12月5日
敷地面積	28,164 m ²	作成者	日建設計 村上 郁
建築面積	5,409 m ²	確認日	2019年12月5日
延床面積	14,601 m ²	確認者	日建設計 村上 郁



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.5

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	大阪を一望できる箕面に位置し、周辺の山並みを映し出す外装材を取り入れ、山裾の景観に溶け込んだデザインとする。また、災害時にも途絶えることのないBCP対策とし、重要なデータを守る。	その他 特になし。
Q1 室内環境	高性能な断熱性能を有し、室内温熱環境悪化を抑制する。また、ブラインドと庇により日光を制御可能な設計とする。	Q3 室外環境(敷地内) 周辺環境と調和のとれた質の高いまちなみ形成を図るため、配置及び敷地内の緑化等に配慮した計画とする。
LR1 エネルギー	高効率型の空調機器、LED照明器具を採用し省エネルギー設計に取り組む。	LR3 敷地外環境 省エネルギー設計から、運用時の二酸化炭素排出量低減を図り、地球温暖化防止に努める。
Q2 サービス性能	主要な配管には耐用年数の長いものを採用して建物性能としての耐用性向上をはかる。また高度情報通信設備に対応し建物の機能性・使いやすさ向上をはかる。	
LR2 資源・マテリアル	リサイクル材の採用、解体時のリサイクルを促進する部材や工法の採用による非再生資源使用量削減に配慮した計画とする。また節水器具採用・有害物質を含んだ材料の使用を避けることで環境負荷削減務める	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0123

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	エクイニクス・ジャパン EQUINIX OS2 建築工事					
	建設地	大阪府箕面市彩都粟生北					
	用途/区分	事務所 工場					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					A	
①	CO2削減					3	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	建物の断熱性					4	
④	エネルギー削減					3	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

	エネルギー消費量の報告	報告しない
--	-------------	-------

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.4	3
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	3.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	4.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.5	4
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	2.7	3
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

【その他】		
	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		